

授業科目名		青年心理学Ⅰ		科目コード	KOIC 0056
学科・コース名		こども未来科		履修区分	必修
授業形態	講義	開講学年	3年次	学期	前期
担当教員	越谷美貴恵	実務経験	有	単位数	1 単位
授業の 目的・目標	・生涯発達の視点から、青年期における心身の発達の特徴について理解する。 ・青年期に生じやすい様々な問題について、心理・社会・生物学的視点から捉えることができるようになる。 ・青年期の発達課題を自分自身の問題として捉え、自己および他者を理解できるようになる。 ・保育者としての自己知覚を深め、保育の現場での支援に活用できるようになる。				
授業の概要	・身近なテーマや親近感を感じることでできる内容を取りあげながら、グループワークや発言の機会を増やすなど学生の積極的な参加を促すことで、学生一人一人が自己理解を深められるような講義を行う。 ・内容が本人の嫌悪刺激となり、不快な感情を体験する可能性もあるが、対人援助者をめざすものの課題として捉え、学生自らが青年期の課題に気づき、対処法についても模索できる力を養えるよう、具体的な事例も活用しながら講義を進める。				
回	授業計画・内容			授業外学習の内容	授業外学習時間
1	青年心理学とは？			1年次・2年次で学習した「教育心理学」「保育の心理学」の復習	120分
2	青年心理学の基礎：青年心理学が、ライフスタイルによる影響を受けやすいことを理解する			2年次に学習した「保育の心理学」の復習	120分
3	青年心理学の基礎：青年心理学が、ライフスタイルによる影響を受けやすいことを理解する			2年次に学習した「子ども家庭支援の心理学」の復習	120分
4	青年心理学の歴史：代表的な青年心理学の理論について学習する			青年心理学の歴史に関して予習・復習	120分
5	青年心理学の歴史：代表的な青年心理学の理論について学習する			青年心理学の歴史に関して予習・復習	120分
6	青年期とは何か？：青年期が発達段階において特別な時期であることを知る			教科書の関連ページの予習・復習	120分
7	青年期とは何か？：青年期が発達段階において特別な時期であることを知る			教科書の関連ページの予習・復習	120分
8	青年期の身体的発達：男女ともに急速に身体的に成長する時期であることを学習する			教科書の関連ページの予習・復習	120分
9	青年期の身体的発達：男女ともに急速に身体的に成長する時期であることを学習する			教科書の関連ページの予習・復習	120分
10	青年期の知的発達：知的発達、思考の発達において重要な時期であることを学習する			1年次に学習したピアジェの復習	120分
11	青年期の知的発達：知的発達、思考の発達において重要な時期であることを学習する			1年次に学習したピアジェの思考の発達についての復習	120分
12	青年期の情緒的発達：情緒的には不安定な時期であり、過渡期を経て、安定した情緒を獲得する重要な時期であることを理解する			教科書の関連ページの予習・復習	120分
13	青年期の情緒的発達：情緒的には不安定な時期であり、過渡期を経て、安定した情緒を獲得する重要な時期であることを理解する			教科書の関連ページの予習・復習	120分
14	青年期の社会的発達：生徒(学生)から社会人へ移行する時期にあたり、この時期の社会性の発達が人間成長に大きく影響することを理解する			教科書の関連ページの予習・復習	120分
15	青年期の社会的発達：生徒(学生)から社会人へ移行する時期にあたり、この時期の社会性の発達が人間成長に大きく影響することを理解する			全授業の整理とまとめを行う	180分
評価方法	・小テスト(各講義時にその日のポイントをまとめる)…40点 ・試験…60点 *授業態度、および試験の得点を総合的に判断して評価する。				
教科書参考書	よくわかる青年心理学第2版 著者白井利明編 <ミネルヴァ書房>				